

# 広野小学校6年生が 12月定例会を傍聴

広野小学校の6年生が、社会科授業の一環として12月定例会の第2日目を傍聴しました。  
時間の都合で、1時間と短い時間でしたが、メモをとる姿なども見られ、真剣に耳を傾けていました。



6年2組 島村 真登くん

議会中はみんな真剣で、すごくはりつめた空気が少しこわかったです。

議題は、ポイ捨てや犬のふんの問題についてで、議員さんからいろいろな質問がありました。最後は可決されました。議長さんや議員さん、各グループリーダーが、何だかほこらしく思いました。



6年2組 新妻 和樹くん

テレビで見る国会の人達のように、話し合っていることが分かりました。

内容は、「ゴミや犬のふん」の問題と「予算案」についてでした。ほくも帰り道によくゴミを見かけるので、対策を考えなければいけないと思いました。



6年2組 久保木瑞穂さん

町長が提案したことについて、グループリーダーが説明し、議員さんがいろいろな意見を述べていたので、1つの問題を解決するまで、たくさんの人たちの努力があることが分かりました。

内容は、少しむずかしかったけど、なるほどと思う意見もあり、学級会みたいだなと思いました。



6年1組 飯島 百香さん

議会を見学してまず分かったことは、議員さんが12人いたことです。

議会中は、まじめに話し合い「異議なし」などと言うところが、かっこよかったです。私も広野町を良くしていくために何か協力できたらいいなと思います。これからもがんばってください。



6年1組 猪狩 玲美さん

町でポイ捨てされたゴミなどを見かけますが、以前よりきれいになってきていると説明を聞いて、少し安心しました。

新しい決まりができれば、早く町の人に知ってもらい、ポイ捨てや犬のふんの防止に気をつけてほしいと思います。



6年1組 中野 花香さん

議会では、いろいろなむずかしいことを決めているのがすごいと思いました。

私の家でも犬を飼っているので、ふんのあとしまつやゴミのポイ捨てなどに気をつけたいと思います。議会を見学させていただき、ありがとうございました。



## 広報委員会

平成19年度北海道町村議会広報コンクール「特選」受賞

# 「びほろ町ぎかい」に学ぶ

～北海道美幌町議会・広報編集委員会視察研修～



北海道には、各常任委員会の研修でしばしば訪れていますが、観光地として交流人口の拡大と大きな面積を利用した農業等で経済の活性化をはかり、税収確保に力を入れており、美幌町も、美幌峠や摩周湖など、観光資源に優れている地域です。

北海道には、各常任委員会の研修でしばしば訪れていますが、観光地として交流人口の拡大と大きな面積を利用した農業等で経済の活性化をはかり、税収確保に力を入れており、美幌町も、美幌峠や摩周湖など、観光資源に優れている地域です。



▲会議であいさつする中津伸一委員長

## 産業厚生

全国に誇る「野菜王国」

# 長野県南佐久郡「川上村」に学ぶ

～長野県南佐久郡川上村・視察研修～

「レタス栽培日本一の村」川上村は、標高1100m～1500mにあり、全国的にも名高い高原野菜の一大産地で、主にレタスや白菜を作っています。

農業後継者の平均年齢は29歳で、定着率が高い理由については、高収入が望めることと、すぐにも農業に取り組める環境・資本があることをあげていました。

また、新しい取り組みとしては、海外に販路を求め、後継者の生産意欲を向上させていくということでした。

川上村は、冬の寒さにより農作物の作付け期間は4月～10月の7ヶ月間ですが、広野町では一年中何かを作ることができません。

川上村の藤原村長は、「人を育てておけば、後世の人たちが新しい産業を興して



▲雨の中でレタス畑を視察する委員

くれる」との考えであり、兼業にしろ、専業にしろ、一世帯当たりの粗収入をある程度確保しておけば、自然と後継者が育つものと考えます。

人を育てることが何よりも大切であり、何か独自の作物を作るといふときには、行政・生産者・農協・商工業者等が一体となり、全町をあげて取り組んでいかなければ成功はありえないと感じました。